

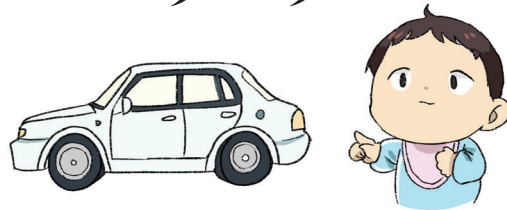
知っていると便利！にほんごのオノマトペ

くるま
第4回 車

こうえきしゃだんほうじん こくさいにほんごふきゅうきょうかい 武田 由美 イラスト：リオ輔

①

ブーブー

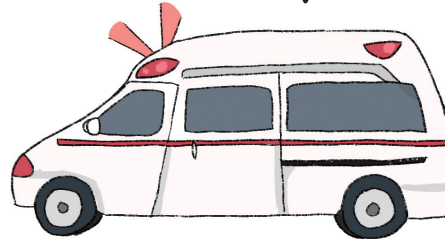


①赤ちゃんやまだ幼い子供に話するとき、大人は「ブーブーが来るよ」と言います。車のことを「ブーブー」と言います。「ブーブー」は車が走るときの音のオノマトペです。赤ちゃんもお母さんの真似をして「ブーブー」と言います。「車」だけではなくて、豚のことも「ブーブー」と言います。これは豚の鳴き声のオノマトペです。「車」や「豚」という言葉をまだ知らない赤ちゃんもオノマトペを使って、話すことができます。便利ですね。

②また、車のサイレンの音も言葉で言ったり、書

②

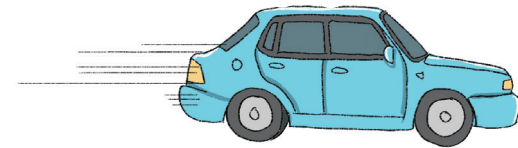
ピーポー
ピーポー



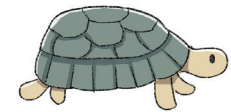
いたりすることができます。例えば、救急車のサイレンの音は「ピーポーピーポー」と言います。「ピーポーピーポーが聞こえます！（救急車は）どこですか？」のように使います。「あっ、ピーポーピーポーが来た！」と言うだけで、私たちは「救急車が来た」と言わなくても、救急車が来たことがわかります。警察の車や消防車もサイレンを鳴らして走ります。警察の車のサイレンは「ウーウー」、消防車のサイレンは「カンカンカン」とか「ウーカンカンカン」と言いますが、あまり使いません。救急車の音「ピーポーピー

③

ビュン ビュン



ノロ ノロ



ポー」はよく使います。

③車のスピードを表すオノマトペもあります。高速道路などで車のスピードがとても速いときは「ビュンビュン走っている」と言います。反対に、とてもスピードが遅いときは「ノロノロ走っている」と言います。「ビュンビュン」や「ノロノロ」は車だけではなくて、自転車が走っているときに「自転車でビュンビュン走ったら、危ないですよ」と言ったり、「カメはノロノロ歩く」と言ったり、自転車や動物の進むスピードにも使うことができます。

オノマトペとは

オノマトペは、音や声、様子を言葉で表したものです。「ドアをトントンたたきます」や犬が「ワンワン鳴いています」、「星がキラキラ光っています」のように使います。オノマトペは「擬音語」「擬声語」「擬態語」とも言います。

日本語には、たくさんオノマトペがあります。日本人はいつもオノマトペを使います。オノマトペを使うと、楽しく話すことができます。